

公認競泳コーチ4  
資格概要

2022年3月25日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本水泳連盟	
養成目的		豊かな実戦経験あるいは優秀競技者・チーム等の育成実績を持ち、より高度な科学的・合理的な水泳指導理論と競技者の発掘・育成・指導のより高度な能力を備えた、日本を代表する指導者を養成する。	
役割		ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。国際大会等の各競技会における監督・コーチとして、競技者が最高の能力を発揮できるよう、強化スタッフとして組織的な指導にあたる。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在満22歳以上の者で、コーチ3資格を有する者。また、各競技種目ごとに定めた基準を充たす競技者・チームを育成し、日本水泳連盟が認めた者。	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅳ(151h以上)
		専門科目	専門科目(80h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅳ:30,800円(税込)／上級教師:61,600円(税込)
		専門科目	受講料:17,600円(税込)※実施団体が別途定める場合がある
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目		<ul style="list-style-type: none"> <li>■講習会 集合講習20h(集合講習の一部はオンデマンドで実施)その他60h(レポート作成20h、指導実習40h)</li> <li>■検定試験 検定試験・レポート審査は(公財)日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会が別途定める。</li> <li>■審査 受講状況(全ての講義の受講履歴)および全ての検定試験で60/100点以上を獲得し、全てのレポート課題でC評価以上を獲得し、検定員がそれらを審査・確認する。</li> <li>■免除要件 (公財)日本水泳連盟公認水泳コーチ3・コーチ4規定実施細則による</li> </ul>	
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料:10,000円	
		資格別登録料:10,000円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ):3,300円	
更新登録要件	(公財)日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会が実施するコーチ4研修会を毎年受けなければならない。		
特記事項			

## 公認競泳コーチ4

2022年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
①種目の特性に応じた基礎理論	①	競技情報・分析(国内・国際大会の競技情報を紹介し内容を分析)	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	②	ナショナルレベルにおける心理学(ナショナルレベルの選手育成に必要な心理学)◆	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	③	メディカルコンディショニング(水泳の医学・最前線)◆	2.00 h	2.00 h	12.00 h
		メディカルコンディショニング(トレーナーの知識)	2.00 h	2.00 h	
		メディカルコンディショニング(アンチ・ドーピング)◆	2.00 h	2.00 h	
	④	トレーニング科学Ⅰ(最先端の専門的トレーニング、体力的課題)◆	2.00 h	2.00 h	12.00 h
		トレーニング科学Ⅱ(最先端の専門的トレーニング、技術的課題)◆	2.00 h	2.00 h	
トレーニング科学Ⅲ(最先端の専門的トレーニング、メンタル的課題)◆		2.00 h	2.00 h		
	小計		16.00 h	16.00 h	32.00 h
②指導理論	①	コーチング法Ⅴ(ナショナルコーチによる指導技術の紹介と習得)	2.00 h	2.00 h	8.00 h
		コーチング法Ⅵ(ナショナルコーチによるトレーニング計画立案と作成法)	2.00 h	2.00 h	
		小計	4.00 h	4.00 h	8.00 h
③実技指導実習	①	指導実習(トレーニング法の実践)	0.00 h	20.00 h	20.00 h
	②	指導実習(コーチング法の実践)	0.00 h	20.00 h	20.00 h
		小計	0.00 h	40.00 h	40.00 h
			20.00 h	60.00 h	80.00 h

※◆印部分については、全競技種目(競泳、飛込、水球、AS、OWS)共通で講義を実施する。